

第63期物理学史資料委員会活動報告

委員長：廣政直彦 副委員長：勝木 渥 理事：覽具博義
委員：植松英穂 岡本拓司 小長谷大介 篠原 猛 高岩義信 永平幸雄
 難波忠清 山脇幸一（棚橋誠治に途中交代） 吉田晴代

1．物理学史資料委員会会議の開催

下記の通り、3回の委員会議を開催した。

第71回物理学史資料委員会

2007年10月16日（火）13：30～16：00（日本物理学会会議室）

第72回物理学史資料委員会

2008年4月4日（金）13：30～16：00（東京大学駒場キャンパス）

第73回物理学史資料委員会

2008年8月7日（木）13：30～16：00（日本物理学会会議室）

2．物理学史資料に関する情報

2-1 物理学史資料委員会

2-1-1 資料委員会に寄贈された茅誠司氏の講義を宮原将平氏が筆記したノートを、宮原恒
昱氏に保管を依頼した。

2-1-2 武蔵学園記念室より山川健次郎『新選物理学』根津育英会、2007年（明治20年の自
筆原稿）が、資料委員会に寄贈された。

2-1-3 京都大学湯川記念館理論物理学刊行会より、*Proceedings of International Sympos
ium, The Jubilee of the Sakata Model November 25(Sat) - 26(Sun)*, 2006, Nagoya Uni
versity, Nagoya, Japan が、資料委員会に寄贈された。

2-1-4 物理学会に寄贈された有馬朗人氏の回想録を、資料委員会の所蔵とした。

2-2 坂田記念資料室

2-2-1 所蔵資料のマイクロ化について検討している。

2-2-2 早川資料（学生時代の講義ノート100冊近く）を史料室で保管することになった。

2-3 自然科学研究機構核融合科学研究所

2-3-1 アーカイブズに関する共同研究を行っている。本年度は、7件の共同研究が実施され
ている。

2-3-2 約18000件の資料がデータベースに登録された。

2-3-3 資料の公開に関しては、国文研の資料情報共有化への登録を始めている。

2-3-4 アーカイブ室への資料の寄贈が行われるようになってきている。

2-4 高エネルギー加速器研究機構

2-4-1 事務関係資料の検討を始めている。

2-4-2 資料を保管している建物が耐震基準に合わないので建て替えることになっている。

2-4-3 高エネルギー研究機構史料委員会が設置され、資料の保存について議論が行われて
いる。

2-4-4 個人資料の受け入れを行っている。

2-4-5 所蔵資料のデータベースの整備と共有化について検討している。

2-4-6 熊谷資料の一部が保管されている。

2-5 新潟大学

2-5-1 新潟大学旧制高等学校時代の実験機器が、新潟大学あさひまち展示館に保存されている。

2-6 東北大学

2-6-1 『東北大学百年史』全11巻が刊行されつつある。

2-7 田中館愛橋資料

2-7-1 『田中館愛橋会会報』第42号が刊行された。

3．資料委員会所蔵資料の利用状況

今期は利用がなかった。

4．資料委員会所蔵の物理学史資料の利用規程について

4-1 資料委員会所蔵資料の調査と、他機関の利用規程についての調査を行い、利用規程の検討を継続して行う。

5．資料委員会のホームページ

5-1 関連リンクのページに、KEK（高エネルギー加速器研究機構）史料室を追加した。

6．今後の活動

6-1 資料委員会を通して全国の保存状況を把握し、その充実の方向を探り、新たな資料を発掘して、資料委員会にそれらの情報を集中させる。具体的には、全国の研究機関等が所蔵している物理学史資料の再調査を行う予定である。

6-2 資料委員会のホームページを充実させ、利用価値を高める内容にし、物理学史資料保存の重要性をアピールする。

6-3 資料委員会が所蔵している資料の公開に向けて、現状の調査と他の機関の資料に関する利用規程について調査し、資料委員会所蔵の資料の利用規程について検討する。